

9:00-10:30

10:40-12:10

第1会場 N102号室

近代における空間認識の変容とまなざし	座長 平岡 直樹(南九州大学)
大分県佐伯における国木田独歩の風景の見かたに関する考察	中川嵩章
松濤園における古写真の立証と庭園様相の変遷に関する研究	関西剛康
岐阜県白川村の白水滝に対するまなざしの変遷	黒田乃生
京都府・大阪府・兵庫県の近代庭園における芝を活用した庭園の変遷について	竹田桃子・福井亘

第2会場 N103号室

植栽(木本)の保全	座長 小宅 由似(香川大学)
大阪市における路傍樹の存続状況からみた保全の課題	上田萌子・西川遼
強剪定がアラカシの細根量と外生菌根に及ぼす影響のリターの有無による差異	佐原怜一郎・澤島拓夫
都市人工林における市民の参画と協働による林縁、路傍、林床植生の創出	田村和也・佐野香織・齊藤義人

第3会場 N104号室

緑地の利用(防災・グリーンインフラ)	座長 高林 裕(京都府立大学)
滋賀県比良山麓集落の水利用にみる利水・防災の仕組みと用排水管理	大原歩・王聞・山口敬太・三好岩生・深町加津枝
谷沢川・丸子川小流域におけるGI導入によるコストおよび雨水流出抑制効果	北島未来・福岡孝則
バッファゾーンにおける森林管理の持続可能性および運営手法の分析	森野真理・大戸悠矢
三島市街地の湧水河川における河川別特性からみた空間構成と人々のかわり	山梨由貴・轟慎一

第4会場 N105号室

緑の施設の役割とマネジメント	座長 町田 怜子(東京農業大学)
阿蘇山上ビジターセンターにおける来館者の展示の観覧と意識変化	佐々木 啓
Google Mapレビューからみる国立公園の利用者評価	安原有紗・水内佑輔
日本植物園協会入会園へのアンケートにみる日本の植物園関連施設の現状と社会的役割	久保登士子・柴田昌三
都市公園におけるゲートウェイ施設の現状と課題	三井雄一郎・武田重昭・松尾薫・加我宏之・島崎敦・松本泰人

第5会場 N106号室

オープンスペースとアクティビティ	座長 山田 順之(鹿島建設)
東京都文京区の保育施設の園外活動の把握とオープンスペースの役割に関する考察	田中則政・山本清龍
呉中央公園における「使いこなし」に向けた利用実態と利用者評価に関する研究	田村将太・森本末葉美・十亀維晶・小沢啓太郎・山本友樹・田中貴宏
植物園における子ども向け体験エリアの空間特性	松本夕芽・嶽山洋志
米国ワシントンD.C.における新型コロナ拡大前後の道路空間利活用プログラムの変化	十亀維晶・田中貴宏・田村将太・Kimberly Vacca

第1会場 N102号室

文化的景観の保全	座長 福井 亘(京都府立大学)
近代の水ワサビ産地における栽培技術を反映した景観の特徴	横尾陽奈子・荒井歩
滋賀県大津市比良山麓の2集落における石構造物の分布と石材利用	王聞・中井美波・大原歩・石塚政孝・三好岩生・深町加津枝
首都圏におけるブドウ栽培とワイナリー事業を介した6次産業化農業への参入プロセス	福崎剛・坂本慧介・横張真

第2会場 N103号室

歴史的空間の変容	座長 栗田 英治(農業・食品産業技術総合研究機構)
片倉工業とグンゼにおける器械製糸工場の事業転換と跡地利用	山口利光・黒田乃生
事業拠点間交通路及び施設配置の変容過程に着目した岩手県小岩井農場の空間特性	大島卓
戦後の旧広島陸軍被服支廠における転用の変遷及び周辺地域との関連に関する研究	酒井恵・岡田昌彰
別荘と観光レクリエーション施設の立地分析を通じた旧新軽井沢地域の空間の変遷の把握	久保暁子・山本清龍

第3会場 N104号室

景観評価とマネジメント	座長 佐々木 啓(和歌山大学)
視点場移動型VRを用いた街路樹の景観と樹木間隔の評価	川口将武・加我宏之・赤澤宏樹
近代の絵葉書の風景にみる名勝鳴門の視点場の存続状況と構成要素の変容に関する研究	大平和弘
みどり市を事例とした景観まちづくりの評価と年代・地域嗜好に関する考察	塚田伸也・森田哲夫

第4会場 N105号室

草本の保全と管理	座長 松島 肇(北海道大学)
八幡市および京都市におけるオリヅルランの帰化状況と冬季の低温の影響に関する研究	山田宏之・田中明則
二次林下のアズマネザサの刈り取りがタマノカンアオイ移植株の生育・繁殖に与える影響	中島宏昭・久野直人・増田楓・水庭千鶴子・亀山慶晃
砥峰高原における半自然草原の所有・管理・利活用の変遷と実態	ボルジギンブレンバヤル・高田知紀・赤澤宏樹

第5会場 N106号室

歴史・風致の保全と制度論	座長 阿久井 康平(大阪公立大学)
明石公園の樹木伐採問題から考える「城址公園」整備の今日的課題	松村優希・篠沢健太
津久井景園地の風景地開発とその背景	小出晃・真田純子
富岡製糸場と絹産業遺産群関連施設の展示内容の現状と地域連携に資する展示の可能性	栗原正博・篠沢健太
韓国における世界文化遺産の緩衝地帯の設定と規制の展開に関する考察	李珣媛・黒田乃生